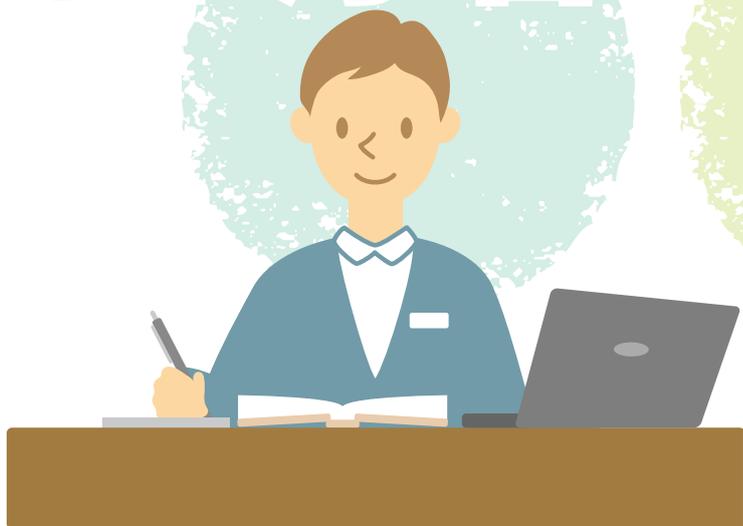


小特集

ここまでできた! アプリケーションによる 個人学習



編集にあたって

上松恵理子 (武蔵野学院大学)

近年、タブレットやスマートフォン上で動作するアプリケーションを用いた児童・生徒向けの個人学習が始まっている。この情報技術の活用による学習形態は、従来からあった個人指導や通信教育と比べて異なる点が多い。学習者にはいつでもどこでも個性に応じテーラーメイドな学習が提供され、保護者には子どもの活用データの結果がすぐに受けられるものとなっている。

そこで、本小特集ではこのような状況を踏まえ、学習データの活用やアダプティブラーニング（個別適応学習）に関する動向の解説、および実際の学習アプリケーションを提供している側、利用している側からの報告で構成した。情報技術の活用によって細かな付加価値が提供できるようになった学習の最新動向を見ていきたい。

まず、学習プロセスを最適化するアダプティブラーニングや学習アプリケーションからのデータ活用の最前線と現状を解説していただいた。ここでは、アプリケーションを用いて学習を行うとき、その過程で得られる種々のデータを活用することでこれまでより効果的な学習を実現した事例を紹介いただいた。

